

おやま 市議会だより



第308号

●主な内容

令和4年度一般会計補正予算 8億6965万円の増額を可決

議案とその内容……………②	議会日誌……………④・⑤
人事案件……………②	市政一般質問……………⑤～⑨
審議結果……………③	表彰……………⑩
委員会報告……………③・④	次回定例会の予定……………⑩

令和4年8月1日号



思川の流しびな (撮影: Photo Art きらら 大島玲子氏)

小山市議会

編集 議会広報委員会

6月

定例会のあらまし

令和4年6月2日～6月27日

令和4年第2回（6月）定例会は、6月2日から6月27日まで26日間の会期で開かれました。

本定例会では、令和4年度一般会計補正予算案をはじめ、条例の一部改正案、財産の取得案および人事案件などについて審議しました。

6月2日、市長から市政一般および近況について報告がありました。続いて議案9件、報告6件が上程され、提案理由の説明を受けた後、人事案件2件および専決処分承認2件を可決しました。

6月6日から9日は、4会派および10人の議員が市政に対して一般質問を行いました。

9日は、上程議案に対する質疑の後、議案を各委員会へ付託しました。その後、令和4年度一般会計補正予算案1件が追加上程され、委員会へ付託しました。また、6月13日から17日には各委員会が開かれ、議案および陳情を審査しました。

6月27日には、各委員長報告が行われ、審議の結果、議案6件を可決、陳情1件を不採択とし、定例会を閉会しました。

主な議案

6月定例会で議決した市長提出議案の中から、主なものをお知らせします。

◆令和4年度小山市一般会計補正予算（第1号）―歳入歳出それぞれ8億6965万円の増額補正。住民税非課税世帯への給付金給付事業費、高齢者臨時特別給付金給付事業費、介護サービス事業所等運営支援事業費、障がい福祉サービス事業所等運営支援事業費、子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親）給付事業費、農業経営支援事業

費、小山市共通商品券発行事業費、コミュニティバス運営事業費、小中学校給食費保護者負担軽減事業費など、補正後の予算総額は657億1965万円。

◆小山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について―児童福祉法および放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の改正に伴い、保育士や教員免許等の基礎資格を有し、一定期間内に研修修了を予定している者についても放課後児童指導員に含むこととするため、所要の改正を行うもの。

◆財産の取得について―議会の議決に付すべき契約及び財産の



導入予定の消防ポンプ自動車（同型車）

取得又は処分に関する条例第3条の規定により提案するもの。

取得財産：消防ポンプ自動車（C D―I型）2台

購入方法：指名競争入札

購入金額：3982万円

購入先：合資会社 渡辺商店

納期：令和5年3月10日

人事案件

◆人権擁護委員候補者の推薦について

小山市大字上生井

阿部 康男（再任）

昭和24年10月24日生

小山市大字横倉新田

小曾根 裕美（新任）

昭和32年2月6日生

名誉市民に

大久保 寿夫氏 推挙

◆名誉市民の推挙について

定例会初日、多年にわたり市勢の発展に多大の貢献をされた前市長の大久保寿夫氏を、名誉市民に推挙することについて議案が提出され、議会はこれに同意しました。



名誉市民推挙状の伝達を受ける大久保寿夫氏（左）

令和4年第2回定例会（6月）審議結果

議決結果

議案番号	件名	議決結果	
予 算			
議案第46号	令和4年度小山市一般会計補正予算（第1号）	原案可決	全会一致
条 例			
議案第37号	小山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決	全会一致
その他の議案			
議案第38号	財産の貸付けについて	原案可決	全会一致
議案第39号	財産の取得について	原案可決	全会一致
議案第40号	財産の取得について	原案可決	全会一致
議案第41号	財産の取得について	原案可決	全会一致
議案第42号	名誉市民の推挙について	原案同意	全会一致
議案第43号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案同意	全会一致
議案第44号	専決処分の承認を求めることについて	原案承認	全会一致
議案第45号	専決処分の承認を求めることについて	原案承認	全会一致
陳 情			
陳情第4-1号	陳情書（国連人権委員会1996年のクマラスワミ報告書および米国下院2007年121号決議の撤回要求を求める意見書採択の要請）	不採択	全会一致

委員会審査から

議案は、本会議で議決される前に、原則として各委員会でも慎重な審査を経ていきます。委員会審査の中から、主な質疑を紹介します。

総務



▼財産の取得について（災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型））

問 今回取得する災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車の装備品である圧縮空気泡消火装置とは。

答 水と泡薬剤を混合した泡溶液に圧縮空気を注入し、泡を生成するものです。高い消火能力を有し、水損防止も図られます。

▼財産の取得について（支援車Ⅲ型）

問 支援車（Ⅲ型）はどのような場面で使用されるのか。

答 支援車（Ⅲ型）の車両形式はマイクロバスであり、水難救助活動などの現場への隊員の搬送や、多数傷病者発生事案にお

ける傷病者の搬送、大規模災害発生時の要請に基づく出動に使用することを想定しています。

総務（陳情）

▼陳情書（国連人権委員会1996年のクマラスワミ報告書および米国下院2007年121号決議の撤回要求を求める意見書採択の要請）

意見 慰安婦問題の日本政府の立場については、国際的な場において説明が続けられていると理解しているため、この陳情については不採択としたい。

意見 慰安婦問題等に関する日本政府の見解が、日韓合意事項の中で明確にされていることや、本陳情の趣旨や内容が、日本国内における一般的な見方ではないと感じられることから、不採択としたい。

民生



▼小山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

問 国で定めた、児童福祉法および放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準について、市が参酌すべき基準とした経緯は。

答 認定資格研修修了者が退職した場合に学童の運営が困難になること、および県が主催する認定資格研修について、定員が限られているため受講機会が少ないことから、学童保育の安定的な運営を目的として参酌基準を適用し、条例改正を提案するものです。

問 外国人の児童を受け入れる際に、指導員の加配をしているのか。

答 現在、外国人の児童を受け入れた際の指導員の加配はしていないため、国の補助メニューや近隣自治体の動向を注視していきたくと考えています。

教育経済



▼財産の貸付けについて

問 荒井商事株式会社に対し、栃木県南地方卸売市場の土地や建物等を引き続き無償で貸し付けることについて、無償貸し付

けをやめる場合の目安は。

答 現在、荒井商事株式会社は市場の管理事務所としての収支は黒字となっており一方、卸売業者としては青果部と花卉部が赤字となっていることから、今後、通算して赤字が改善した際には、有償での貸し付けを考えたいです。

問 貸し付けの契約更新にあたり、荒井商事株式会社から要望等はあったのか。

答 荒井商事株式会社からは、市場の活性化として、特に施設使用料収入向上のため、市場の空き店舗を埋める方法について相談を受け、対応しています。

予算審査



▼令和4年度小山市一般会計補正予算(第1号)

問 小山市共通商品券は、買えない市民はその恩恵を受けられない。直接市民が恩恵を受けられるように、商品券以外の方法は検討したのか。

答 今回の物価高騰により全ての市民に影響が及んでいます。令和2年の特別定額給付金のよ

うな大規模支援の実施は非常に難しいことから、落ち込みが懸念される地域経済の活性化を図るとともに、生活者への支援にもつながる商品券の発行を考えました。

問 コミュニティバス運営事業費について、乗客数が増えている一方で、補助金を増額した理由は。

答 コミュニティバスで使用している軽油の現在単価が、高騰前の単価より50円ほど上がったことから、運行継続のため増額補正するものです。

問 学校給食の食材調達現状と小山市産の割合は。

答 牛乳や調味料、冷凍食品などは、公益財団法人栃木県学校給食会から購入し、生鮮野菜や肉類などは、市内の事業者から購入しています。また、学校給食は、地場産物を利用するように努め、米は小山市産、パンの小麦は栃木県産、米パンの米粉は小山市産を使用しており、小山市産の占める割合は、学校給食全体の25%程度となっています。

議会日誌

〔4月〕

▽13日 関東市議会議長会支部
長会議

▽19日 議員説明会／議会ICT
T化検討専門部会

▽27日 関東市議会議長会定期
総会

〔5月〕

▽9日 市執行部との定例懇談
会／議会運営委員会／
議会報告会運営委員会

▽10日 議員説明会／議会ICT
T化検討専門部会

▽12日 議会運営委員会／議会
報告会運営委員会／会
派代表者会議

▽25日 全国市議会議長会定期
総会

▽27日 議会運営委員会／小山
市議会災害対策支援本
部連絡会議

〔6月〕

▽2日 議会広報委員会／議員
説明会／議会報告会運
営委員会

▽7日 会派代表者会議

▽8日 議会ICT化検討専門



市政一般質問の動画をご覧になれます。

各議員の顔写真の下の2次元コードをスマートフォン等で読み取ると、質問の動画をご覧いただけます。

※視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります。

市政を問う

6月定例会 市政一般質問

※発言順に掲載 ○は会派代表質問を行った議員

会派代表質問

自民未来塾

- 荒井 覚 関 良平
- 小川 亘 福田 洋一
- 篠崎 佳之 福田 幸平
- 岡田 裕 高橋 栄
- 渡邊 一郎



岡田 裕
議員



動画はこちら

質問事項 ①令和3年度決算見込み②ウクライナ避難民受け入れ③カーボンニュートラル④ごみの分別収集⑤高齢者の福祉政策⑥医療費無料化⑦中学校の部活動の外部指導者⑧企業誘致の実績と効果

問 少子化対策の一つとして、18歳まで医療費無償化にならないか。

保健福祉部長 小山市では、少子化対策として開始されたことも医療費助成制度の段階的な拡充を行ってきました。また、国や県が少子化対策として積極的に取り組むべきものと考え、県

に対して補助対象の拡大を、国に対して、新制度の創設を要望してきました。このたび、県より令和5年度からのこども医療費制度の拡充方針が示され、小山市においても令和5年度中に対象年齢を18歳まで拡大できるように準備を進めます。

問 国や県が中学校運動部活動の外部指導者、地域クラブへの移行、ICTによるリモート指導を提言しているが、小山市の対応は。

教育長 小山市では、部活動指導員の配置により、生徒の技術面や精神面での成長に加え、部活動顧問の働き方改革につながっていると考えています。ICTを活用した短時間で効果的な活動の推進に向けた実践研究については、専門外の顧問が指導している運動部へ専門スタッフが、映像を使ったりモーターでの指導や、対面での技術指導、科学的なトレーニングの指導を行うものです。県から実践対象校対象部活動の公募があった場合、各校の要望や現状を踏まえ、応募について前向きに検討します。

議場見学

部会

- ▽9日 議会運営委員会／公共施設等整備調査特別委員会

- ▽13日 民生常任委員会

- ▽14日 教育経済常任委員会

- ▽15日 建設水道常任委員会

- ▽16日 総務常任委員会

- ▽17日 予算審査常任委員会／会派代表者会議

- ▽27日 公共施設等整備調査特別委員会／議会運営検討専門部会／議会報告会運営委員会

- ▽6日 栃木県市議会議長会議
- ▽12日 議会広報委員会／議員説明会／議会報告会運営委員会

7月

- ▽30日 乙女小 68名

- ▽28日 豊田小 38名

5月

- ▽30日 乙女小 68名

6月

- ▽28日 豊田小 38名



市政会

- 小林 英恵
- 大出 ハマ
- 橋本 守行
- 渡辺 一男
- 安藤 良子
- 植村 一
- 嶋田 積男
- 細野 大樹



橋本 守行 議員



動画はこちら

質問事項 ①総合政策行政②建設水道行政③市民生活行政

問 小山総合公園を利用して、若者や親子が交流できる事業の推進はできないか。

都市整備部長 小山総合公園では、公園を人とのふれあいの場、憩いの場として利活用する取り組みとして、公園活用事業を行っています。公園活用事業では、民間の柔軟な発想によりキッチンカーなどが集まるマルシェ「おやまいち」を開催し、公園の新たな魅力向上を図ることで、公園が人とのふれあいの場として利活用されています。また、小山総合公園で安心して活発に遊んでいただくため

の施設整備として、令和2年6月に水上アスレチックをオープンしました。公園内の遊具についても、長寿命化計画に基づく改修や日常点検に基づく補修など、必要な措置を進めます。

問 市内に、オートキャンプ場を含め、親子で利用できるキャンプ場の整備はできないか。

総合政策部長 キャンプ場整備

はこどもの国基本構想の趣旨となる、小山市の魅力と身近にふれあうことにより、地域の活性化や持続可能な社会を実現する取り組みにつながるものと考えています。また、小山青年会議所主催で、令和4年4月に小山総合公園で開催したみらい創造キャンプでは、募集人数以上に申込があるなど、アウトドアブームにより、市内でのキャンプ需要が高まっていることも把握しています。これらのことから、気軽に週末、市内で家族等が利用できるキャンプ場の整備については、関係部署とも連携して、既存施設の改修や未利用地の活用等も視野に入れ、整備の方向性を検討します。

市民派21

- 山野井 孝
- 石島 政己
- 塚原 俊夫
- 青木美智子



青木美智子 議員



動画はこちら

質問事項 ①生理の貧困②子育て支援③ひとり親家庭支援の充実

問 小中学校では、生理用ナプキンを保健室に取りに来させているが、誰にも知られず心配しないで学校生活を送れるように個室トイレに配置できないか。

教育長

現在、市内のほとんどの学校は、児童生徒の心身の不調や家庭の状況などを把握し、その後の指導に生かすために、生理用品を養護教諭や女性教職員が手渡しています。トイレに生理用品を置き、自由に使えるようにすることはメリットがある一方で、トイレに常時置いておくことは衛生上難しく、いたずらの防止を含む管理面の課題について懸念する声も学校から

寄せられています。今後は、必要な児童生徒に生理用品が渡るよう、引き続き学校と協議するとともに、学校として、トイレに生理用品を設置することについて検討するよう周知します。

市長

児童保育施設については、小山市公共施設等マネジメント推進計画や、小山市子ども・子育て支援事業計画に基づき、利用児童数の見込みを算出し、整備や統合をいたしました。小山城東小学児童保育館は、令和4年度で開設28年目となり、その間、適宜軽微な修繕を行い、駐車場についても、比較的近隣に確保するよう努めてきました。当該児童保育館の移設については、小山市公共施設等マネジメント推進計画の方針では、利用者の推移を踏まえ、民間施設の活用との促進や、施設を集約することとなっているため、児童保育の需要を注視しながら検討していきます。

おやま創生会

荻部 勉 森田 晃吉
○土方 美代



土方 美代
議員



動画は
こちら

質問事項 ①母子健康手帳②改正動物愛護管理法③教育行政④インボイス制度⑤自動車NOX・PM法

問 母子健康手帳について、家族の形態の多様化に伴い、親子手帳に変更できないか。

市長 母子健康手帳は、家族の子育て期の記録や子育て支援ツールとしての活用が期待され、母親のみならず、父親や家族も一緒に使うものとなっています。また、現代では様々な家族の形態があり、子育てをめぐる環境や価値観が変化する中で、母子健康手帳の名称も時代に即したものにすることがあると考えます。小山市においても、母子健康手帳を「親子手帳」と表記を変更する方向で検討します。

問 インボイス制度について、小山市の現在の進捗度は。また、民間事業者に対し、どのような周知活動をしていくのか。

総合政策部長 小山市においては、一般会計等の4会計で、税務署宛てに適格請求書発行事業者登録申請を行う必要があります。今後は職員への制度周知やシステム改修等を行い、令和5年10月1日からの制度開始に適切に対応できる体制を整えます。また、民間事業者への周知については、栃木税務署と連携し、本制度に関するパンフレット等の配置やホームページへの関連情報の掲載等を行います。さらに事業者宛ての通知発送の際や、個人事業主等に対応する機会が増える確定申告の時期において、丁寧な制度周知に努めます。

※1 インボイス制度：インボイスとは、消費税の適切な課税の確保や、買手である事業者が消費税の仕入税額控除を正確に受けることを目的とし、現行の売り手が発行する請求書等に、登録番号、適用税率、消費税額等の記載を追加したもの。制度開始日からインボイス発行事業者となるためには、令和5年3月31日までに、所管の税務署宛てに適格請求書発行事業者登録申請を行う必要がある。

個人質問

(発言順に掲載)



荒川美代子
議員



動画は
こちら

質問事項 ①保健福祉行政②市民生活行政③男女共同参画④とちぎ国体

問 低出生体重児への子育て支援や経済的支援が必要と思う。その一環としてリトルベビーハンドブックを作成すべきでは。

保健福祉部長 栃木県は令和4年度に、低出生体重児やその家族への支援体制の充実のため、母子健康手帳と併せて使用できるリトルベビーハンドブックの作成を計画しています。作成には、低出生体重児の子どもを持つ保護者や、医師、看護師等の意見を取り入れるための関係者会議等を開催し、作成後は周産期医療センター等での配布を計画しています。市としても、県のハンドブックを活用し、低体重で誕生した子どもやその家族の相談、支援をさらに充実させます。



福田 幸平
議員



動画は
こちら

質問事項 ①総合政策行政②経済行政

問 国が有機農業産地づくりを推進する戦略を発表したが、田園環境都市小山ビジョンでの位置づけ、現状および考えは。

産業観光部長 小山市では、有機農業は農業の未来に必要と考え、有機農業推進協議会を設立しました。国のモデル的先進地区に採択されれば、令和4年度中にオーガニックビレッジ宣言を行い、有機農業を推進したいと考えます。

総合政策部長 農業や農地が地域にとって大切であるとの意見が多く、各地区の思いをビジョンに盛り込み市全体で共有すること、その実現に取り組みる考えです。また、個別計画で必要な施策を位置づけ、ビジョンによりそれらの関係性をつなぎ、体系化することで、田園環境都市小山の実現につながると考えます。



植村 一
議員



動画は
こちら

質問事項 ①骨髄バンク登録の
推進②地域おこし協力隊③安全
安心な市道の維持管理

問 本市における骨髄バンク登録者等の現状、および登録推進に向けての取り組みについて伺いたい。

市長 小山市の骨髄バンク登録者数は、日本赤十字社が非公開としていますが、平成28年に市が独自で調査したところ、新規登録者は年間で173人でした。小山市では登録者数の増加を図るため、医師会、県、骨髄バンク普及啓発ボランティア団体、献血事業推進団体、市により構成された小山市骨髄バンク登録推進協議会を立ち上げ、登録説明会への協力や広報物の配布等、協働で周知啓発を行ってきたほか、健康都市おやまフェスティバルや市ホームページ等でも啓発を行い、登録推進に努めています。



森田 晃吉
議員



動画は
こちら

質問事項 ①学童保育②鳥獣対策③水害対策

問 豊穂川流域水害対策について、今後のスケジュールは。

建設水道部長 令和4年度は、用地取得が完了した大日橋下流の約480メートル区間について、河道内の樹木の伐採、工事用仮設道路の設置を行い、非出水期から河道拡幅、築堤工事を進めます。また、河道整備に伴い撤去となる豊穂川排水樋門について、栃木県と撤去の方法や時期について協議します。公共下水道事業大行寺排水区は、令和3年度に着手した雨水管の工事を実施しており、令和5年度の完成に向けて工事を進めるほか、令和5年度には雨水ポンプ場、令和6年度には調整池の整備に着手し、令和7年度の事業完了を目指します。



佐藤 忠博
議員



動画は
こちら

質問事項 ①市民生活行政②教育行政③消防行政

問 大規模災害時に備え、避難所において聴覚障がい者を支援するための災害時援助用のバンダナやビブスを導入すべきでは。

保健福祉部長 避難所において、聴覚障がいのある方が「耳がきこえません」などと記載されたバンダナやビブスを着用すること、聴覚障がいのある方が支援者を探す目印になります。小山市としては、災害時援助用のバンダナやビブスについて、表記の内容等、他自治体の状況を調査し、避難所への導入に向けて順次進めていきます。



高橋 栄
議員



動画は
こちら

質問事項 ①コロナ禍における「地域のコミュニケーション」の向上②都市整備行政③総務行政

問 いきいきふれあい事業や友愛サロンにおいても、実施基準を設けて周知し、判断しやすく促すべきと思うが。

保健福祉部長 いきいきふれあい事業については、令和3年12月の研修会と令和4年5月の役員会において、各センターの代表者や役員に対し、感染対策ガイドラインや再開に向けたチェックリスト等の配布・説明を行いました。今後は、各会場の状況に応じた開催方法について、高齢者サポートセンターと共同で対応します。友愛サロンについては、活動の際の感染予防対策や感染危険度が低い活動と高い活動を例示して、活動再開を促しています。また、両事業とも、再開に向けての相談には担当職員が随時対応しています。



平野 正敏
議員



動画は
こちら

質問事項 ①子育ての公的支援

②建設水道行政③コロナ対策

問 学校給食費値上げを実施または決定している自治体が増えているが、小山市では値上げなど検討していないか。

市長 学校給食費は、平成11年度から23年間変わっておらず、県内でも一番低い額になっています。市でふゆみずたんぼ米を含む小山産米を購入することや、小山産の肉や野菜等の地場産物の購入補助をすることで、値上げをせずに保護者負担を軽減しています。また、給食の質を落とさないよう、献立や食材選択の工夫をしています。物価高騰の影響により厳しさが増していますが、保護者の負担が増えないよう、従来の取り組みを維持しつつ、今後とも安心安全で、児童生徒に栄養バランスのよい学校給食を提供していきます。



渡邊 一郎
議員



動画は
こちら

質問事項 ①農業行政②栗宮新都心計画③公園等の整備

都市整備部長

問 犬が散歩できる公園とは。

都市整備部長 公園での犬の散歩については、犬のフン・尿の後始末やノーリード等に対する苦情があり、公園の里親愛護会と相談した結果、間々田美しが丘公園を除くすべての公園で遠慮いただいています。一方、令和3年度に実施したアンケート調査によると、ドッグラン整備の希望や、公園内での犬の散歩を認めてほしいとの意見が多数ありました。ドッグランの整備については、既に市内に民間の施設があり、民業圧迫になる恐れがあることや、新規に整備を検討している事業者がいることから、民間事業者の動向を伺うこととし、市では、早期に実施できる施策として、公園内での犬の散歩の試行を実施することにしました。



大平 拓史
議員



動画は
こちら

質問事項 ①総務行政②治水対策③教育行政

問 国は政策決定を客観化できる取り組みとして、EBPM(証拠に基づく政策決定)を進めているが、小山市の取り組みは。

総務部長 小山市においても政策の有効性や透明性の向上のため、EBPM導入を検討し始めましたが、実施に必要な高度なエビデンスや、解析技術を持つ人材の確保・育成が課題となっています。その解決策の一つとして、令和4年度はデータを活用した政策立案についての職員研修を実施し、EBPMに必要な能力の向上を図るとともに、行政評価等へのEBPMの考え方の導入を検討します。

※2 EBPM:データから定量的に効果

が導かれたエビデンスに基づき、政策の企画立案・検証・改善を行う手法。事務事業の実施により生じた変化を抽出し成果として評価する、客観的で高い透明性が確保できる取り組み。



片山 照美
議員



動画は
こちら

質問事項 ①ひきこもり相談支援事業②成人式

問 小山市の成人式「二十歳を祝う会」について、ご本人やご家族、そして関係者の負担を考えて今後の開催にできないか。

教育部長 二十歳を祝う会は、年度ごとに実行委員会を立ち上げ、学校や地元の協力のもと、成人者自らが運営に携わっていることから、式典会場や開催時間の見直しについて、会場となる学校や成人者等のご意見を伺いながら検討していく必要があります。今後はアンケートなどを実施したいと考えていますが、アンケートの内容や対象者、実施時期については、8月に立ち上がる予定の実行委員会および社会教育委員に検討いただくなど、令和6年以降の式典が成人者にとってよりよい式典になるように努めていきます。

暑中お見舞い申し上げます

議長 福田 洋一
副議長 橋本 守行

片山 照美
平野 正敏
嶋田 積男
佐藤 忠博
森田 晃吉
大木 英憲
篠崎 佳之
大出 ハマ
青木美智子
石島 政己

細野 大樹
渡邊 一郎
高橋 栄
岡田 裕
荻部 勉
福田 幸平
荒川美代子
安藤 良子
関 良平

大平 拓史
渡辺 一男
土方 美代
小林 英恵
植村 一
荒井 覚
山野井 孝
小川 良
塚原 俊夫



小山市議会は公職選挙法の遵守はもとより、議員本来の使命に専心するため、初盆のご挨拶ならびに暑中お見舞いのご挨拶は自粛しています。市民の皆様のご理解をお願い申し上げます。
小山市議会議員一同

表彰



福田 洋一 議員

福田洋一議員が、全国市議会議員表彰会より、議員在職15年表彰を受けました。また、全国市議会議長会より、地方の協議の場等に関する特別委員委員として会務の運営にたずさわったことにより、感謝状が贈呈されました。

次回定例会の予定

9月1日(木)	本会議 (開会・議案上程)
9月5日(月)	本会議 (一般質問)
9月6日(火)	本会議 (一般質問)
9月7日(水)	本会議 (一般質問)
9月8日(木)	本会議 (一般質問・付託)
9月14日(水)	委員会
9月15日(木)	委員会
9月16日(金)	委員会
9月20日(火)	委員会
9月21日(水)	委員会
9月30日(金)	本会議 (採決・閉会)

※正式な日程および傍聴は、後日開催する議会運営委員会にて決定後、小山市議会ホームページでお知らせします。



令和4年第2回定例会の傍聴者数
6月定例会の傍聴者数は、34人でした。

6月2日= 0人・6日=12人
7日= 1人・8日=12人
9日= 8人・27日= 1人

本会議はインターネットでご覧になれます。



市議会本会議のインターネット中継・録画配信をおこなっています。ぜひご利用ください。

(小山市議会ホームページからリンクしています)
<http://www.oyama-city.stream.jfit.co.jp/>



人と人が争う姿は、見ている側も悲しいものですね。その中でも、悪意と悪意がぶつかる紛争より、自分の信じる正義と相手方の信じる正義がぶつかったときの紛争のほうが、双方に大義があるため、振り上げたこぶしを収めるまでに、多大な時間と費用がかかり、人々に甚大な被害と一生消えない心の傷を残すでしょう。このことは、遠くの異国の地の話というわけではなく、私たちの身近な生活、人間関係でもよくある話です。人はどうしても、年齢・性別・所得・地位・名誉・肩書・家柄等、さまざまな「ものさし」で自分と他人を測ってしまい「同じ人として」「アサーティブ・コミュニケーションをとることがなかなかできません。アサーティブ・コミュニケーションとは相手に対しても、自分に対しても「誠実」「率直」「対等」「自己責任」この4つの柱をもとに信頼関係を構築する手法のことです。今一度、皆さまも一緒に自問自答してみませんか？

(土方)